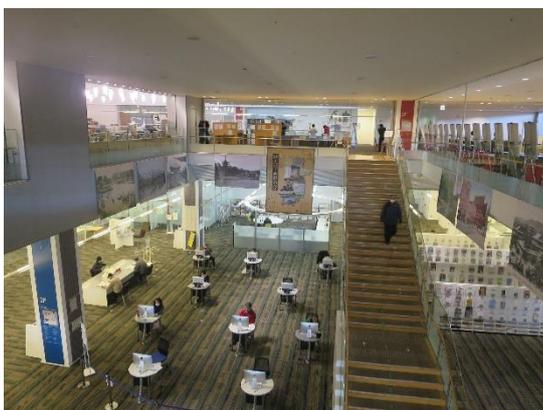
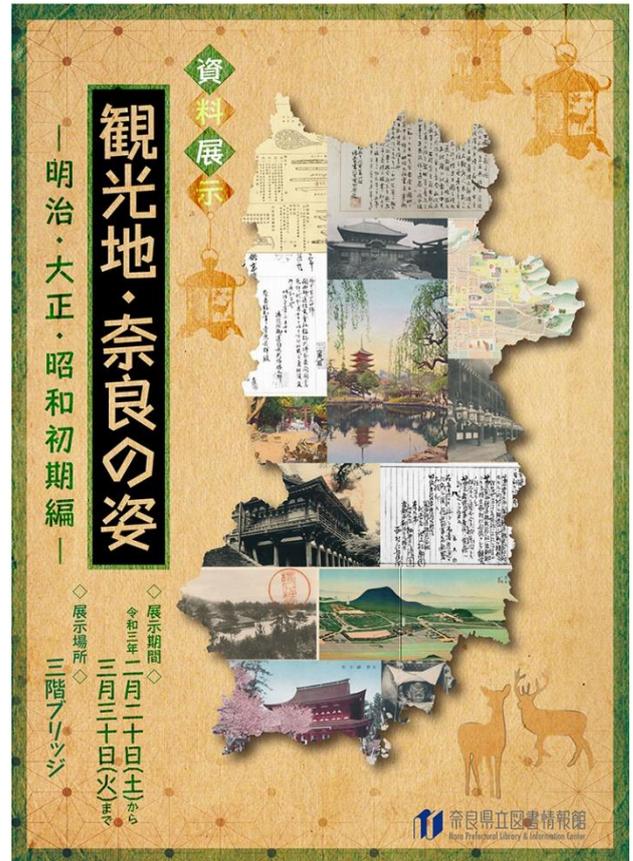


資料展示 「観光地・奈良の姿」 ～明治・大正・昭和初期編～

展示期間：令和3年(2021)2月20日～4月29日(延長) 展示場所：3階ブリッジ

奈良県の公文書館としての当館の機能をより多くの方々に知っていただくため、明治から昭和初期にかけての「観光」をテーマに所蔵する公文書、地図などの歴史資料を中心とした展示を行います。あわせて絵葉書や写真をパネルで展示するほか、解説パネルから当時の観光地・奈良の様相を幅広くご紹介します。

明治維新後、廃仏毀釈の影響により寺院が大きな打撃を受け、寺社の都でもあった奈良の町は衰退を極めました。しかし、その壊滅的な状況から復興し、奈良県が日本を代表する観光地に数えられるまでの基礎が築かれた明治時代に遡り近代観光の変遷を、昭和初期まで当館が所蔵する資料とともに振り返ります。



展示会場及び展示事例

